

愛する故郷 小笠原



令和5年11月 文責：校長 佐野紳二

寒くなってきました。小笠原小学校の11月

11月に入り、朝夕はだいぶ寒くなってきました。校内の木々や周りの山々も色づき始め、秋の深まりを感じます。そんな中でも、子どもたちは元気に勉強や運動に取り組んでいます。11月の子どもたちのようすを紹介します。

いもほり・リースづくり（1年生・生活科）



1学期に植えたサツマイモが大きくなったので、みんなでいもほりをしました。その後、さつまいものつるでリースづくりにも挑戦しました。

お店たんけん（2年生・生活科）



2年生は生活科で地域にあるお店の探検をしました。お忙しい中、子どもたちの対応をしてくださった皆様、ご協力ありがとうございました。

大豆の収穫（3年生・総合的な学習の時間）



3年生は大豆の収穫をしました。大きくなった大豆の株に悪戦苦闘の子どもたちです。

徳島堰を学ぶ（4年生・社会）



4年生は徳島堰の見学に出かけました。利水の歴史を学ぶことができました。

NHK・ジュエリーミュージアムの見学（5年生・社会）



5年生の社会科見学。ジュエリーミュージアム・NHKなどを見学しました。

楯形の歴史を学ぶ（6年生・総合的な学習の時間）



6年生は総合で小笠原地区の歴史について学んでいます。

市内一斉あいさつ運動



11月6日と7日の2日間、青少年育成南アルプス市民会議の皆様によるあいさつ運動が行われました。6日の朝には金丸市長様もあいさつに加わってくださいました。

お話の会の皆様による読み聞かせ



音楽会



11月9日（木）、4年ぶりに音楽会が行われました。コロナ禍の3年間、歌うことには制限がかけられ、体育館も使用人数に制限があったため実施できなかった音楽会ですが、久しぶりに体育館に全校児童の歌声が響きました。

全国的にインフルエンザが猛威を振っています。本校でも、今月に入ってからインフルエンザが流行っています。このところ若干下火にはなってきましたが、まだまだ油断はできない感じです。地域の皆様も、インフルエンザや風邪に罹らないよう、ご自愛ください。